


トピックス topics

第17号
H20. 6

- p1 ◆ 農業委員統一選挙(7/6投票)迫る！
- p2 ◆ 8月に耕作放棄地の全体調査
市町村と農業委員会の協力で1筆ごとに実態把握
- p3 ◆ 農委会長ら農家の声を地元国会議員に伝える
平成20年度全国農委会長大会に代表参加
- p4 ◆ 総会だより、会議員の異動、
常任会議だより、ほか

京	農	業	会	議
都	だ	よ	り	

発行 京都府農業会議
〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内
TEL: 075 (441) 3660 e-mail: k_noukai@agr-k.or.jp

7月6日(9月)は 農業委員 統一選挙です



夢のある
郷土を育てる
農委選

農業委員会・都道府県農業会議・全国農業会議所

スローガン

地域との絆強める

行動力ある人材を

農業委員に！

農業委員統一選挙

〜府内18委員会で改選へ〜

7/6投票

迫る！

3年に1度の農業委員統一選挙が間近に迫ってきました。

農業会議では、2月の常任会議で「統一選挙対策要領」を定め、農業・農村をめぐる厳しい情勢や地域の農政課題に対応できる農業委員会体制の確立に向けて、女性・青年・認定農業者やベテラン層など、意欲と行動力に富んだ多彩な人材の立候補や登用を呼びかけています。

今回、農業委員統一選挙が行われる市町村は次のとおりです。

- 向日市、長岡京市、大山崎町、宇治市、久御山町、八幡市、京田辺市、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、亀岡市、綾部市、舞鶴市、福知山市、宮津市、伊根町。

※告示日は、市〓6/29、町村〓7/1

8月に耕作放棄地の全体調査

市町村と農業委員会の協力で1筆ごとに実態把握

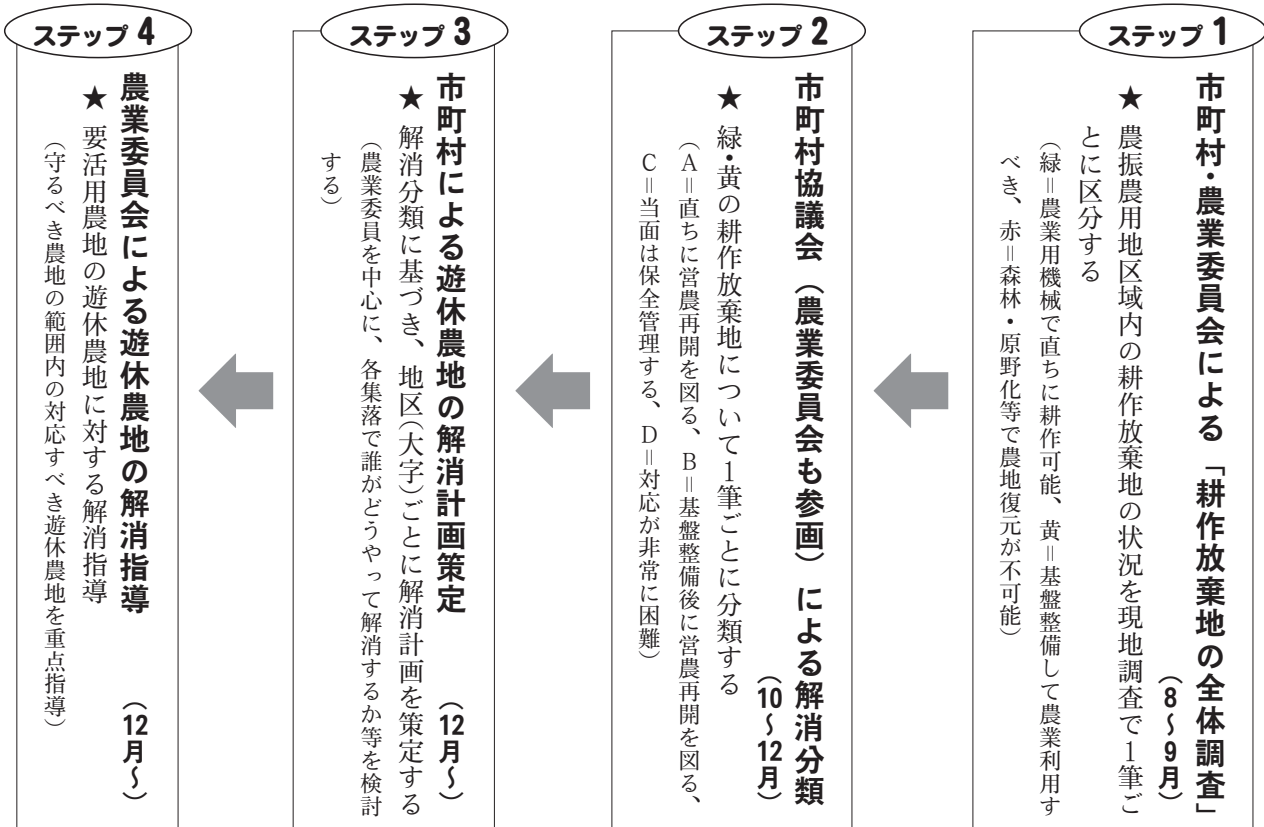
耕作放棄地の“正確な実態把握と解消”をめざして、今年8月、全国の市町村・農業委員会で一斉に「耕作放棄地の全体調査」が行われます。

農業委員のみなさんには、担当地区の農振農用地区域を現地調査し、発見した耕作放棄地の荒廃レベルを1筆ごとに確認しながら、①緑「農業用機械で直ちに耕作可能」、②黄「基盤整備して農業利用すべき」、③赤「森林・原野化している等で農地復元が不可能」に3区分していただくことになります。

市町村は、この区分をもとに、今秋以降、耕作放棄地の解消計画を策定します。農業委員会と市町村は、地権者や地元集落に対して解消に向けた働きかけを行っていくことになります。

農業委員選挙が行われる市町村では、この取り組みが新農業委員の“初仕事”となります。暑い時期に大変ですが、よろしくお願ひします。

新たな耕作放棄地対策の流れ

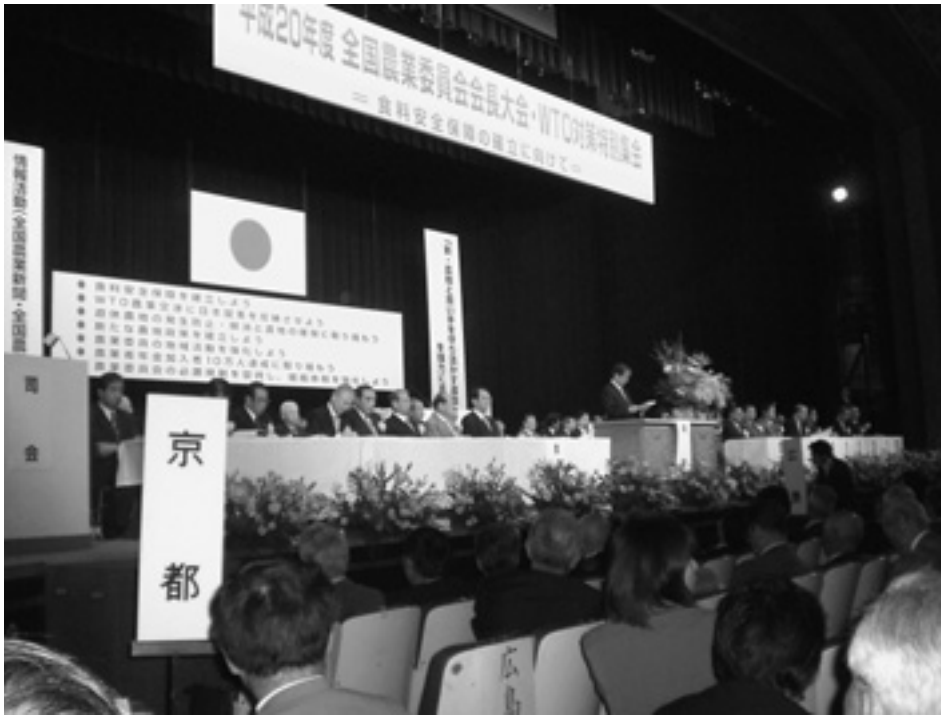


全国農委會
会長大会

農委会長ら農家の声を

地元国会議員に伝える

平成20年度全国農委会会長大会に代表参加



5月30日、東京の日比谷公会堂で「平成20年度全国農業委員会会長大会」（全国農業会議所主催）が開かれ、京都府からは、農業会議・草木会長をはじめ、7人の農業委員会会長らが代表参加しました。

大会では、農地の総量確保と利用促進に向けた「新たな農地政策の確立に関する提案」や「食料安全保障の確立と農業・農村の再生に向けた政策提案」のほか、緊迫しているWTO農業交渉等に関する特別要請が決議されました。

大会後、京都府代表団は、地元選出の衆参両院議員への要請活動を行い、決議内容に沿って遊休農地の解消対策や担い手への農地集積、認定農業者や集落営農組織の支援対策などの要請を行いました。

また、代表団の一部は、関係省庁と政党への要請を行いました。

▼大会に参加した農業委員会会長

(敬称略)

安田 一民 (京都市農業委員会会長職務代理)
完岡 義清 (城陽市農業委員会会長)
西川 隆雄 (八幡市農業委員会会長)
河村 穆 (木津川市農業委員会会長)
人見 保夫 (南丹市農業委員会会長職務代理)
石束 輝己 (舞鶴市農業委員会会長職務代理)
宇野 明忠 (京丹後市農業委員会会長)



政府・与党への要請行動には京都府代表も参加。太田豊秋全国農業会議所会長から谷垣禎一政調会長に要請書を手渡した。

総会だより

第97回総会 (3月19日)

農業会議の事業計画や予算等を協議・決定しました。内容は次の通りです。

来賓祝辞

- ①小石原副知事
- ②家元府議会議長

表彰

農業委員会広報コンクール表彰

議事

- ①平成19年度「補正予算」を決定
- ②平成20年度「事業計画」を決定
- ③平成20年度「予算」を決定

会議員の異動

〈1号会議員〉

- 〔長岡京市〕
- 新任 多員 孝雄 (4月7日)
- 退任 木村 俊六 (3月31日)
- 〔京丹波町〕
- 新任 小森 清司 (5月9日)
- 退任 澤田 太三 (5月9日)

常任会議だより

農地法等諮問案件の審議のほか、次の課題を協議しました。

第317回常任会議 (3月19日)

協議

- ①第97回総会の運営について
- ②今後の農地政策の展開方向等に関する組織検討・意見集約について

第318回常任会議 (4月23日)

報告

- ①平成20年度の耕作放棄地対策について

第319回常任会議 (5月28日)

報告

- ①平成20年度の耕作放棄地対策について
- ②WTO農業交渉をめぐる動きについて

【農地法諮問案件の審議件数 (3～5月)】

第4条25件	13,307.34㎡
第5条64件	60,884.48㎡
計 89件	74,191.82㎡

農業会議の出版物

『農業会議情報』

▼No.763

平成19年「田畑売買価格等に関する調査」の結果

▼No.764

「現場から学ぶ土地利用対策の実践」平成19年度土地利用対策リーダ―現地研究会のまとめ」

▼No.765

平成19年度 農業委員会・農業会議の建議・要望等

『むらの元気をおこす定住者誘導の手引き』

『京の田舎ぐらし』18の新しいライフスタイル』

おすすめ図書

『第13版 農業委員会制度のあらまし』

●農業委員会の組織と業務をわかりやすく解説。新任委員の研修に必須の一冊です。



コード19-45 450円

『ストップ/遊休農地 農地はみんなの宝物』

●遊休農地の解消方法を検討する際に配布できるリーフレットです。



コード20-07 45円

『しっかり積み立て、がっちりサポート 安心で豊かな老後を 農業者年金の仕組みと政策支援』

●農業者年金のメリットや政策支援の要件を紹介。加入推進に御活用ください。



コード20-02 90円

※お問い合わせは農業委員会事務局又は農業会議まで

今後のスケジュール (予定)

- ▼第320回常任会議 (6/26)
- ▼第321回常任会議 (7/16)
- ▼第98回総会 (8/27)
- ▼第322回常任会議 (8/27)